

大分県立別府鶴見丘高等学校 2021 学校経営方針

【学校教育目標】

「学力と人間性を兼ね備えたタフな鶴高生を育成する」

＝「質実剛健」：知・徳・体のバランスのとれた人間育成＝

【鶴高の3年間で付けたい力】

- 豊富な知識を修め、探究や考察の手法を身に付け独自の案を創造し発信することができる。（学力）
- 規律を重んじ、自らを適切に律し、多様な人々とともに目標に向けて協働することができる。（人間性）
- 自分の可能性を信じ、一歩前に踏み出す勇気を持ち、失敗しても粘り強く取り組むことができる。（タフ）

グローバル社会をリードし、ふるさと（別府市・大分県）に活力を与えることができる自立した人材

本年度の「重点目標」と「主な取組」

知識を深め考え抜く力の育成	多様な人々とチームで働く力の育成	未来をみつめ一歩踏み出す力の育成
<p>① 「考えることが楽しくなる」授業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「鶴高授業スタンダード」の確立 ・付けたい力を意識した密度の濃い授業 ・知識・思考・表現のバランスの取れた授業 ・家庭学習との連続性を意識した授業 ○主体的な家庭学習の確立 ・授業との連続性のある課題等の工夫 ・進路目標を意識した家庭学習の実践 <p>② 「総合的な探究の時間」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○探究力の計画的な育成 ・1年次「湯の町探究」 ・2年次「グローバル探究」 ・3年次「未来（自立）探究」 ○地域や大学等と連携した深い学びの実践 ・APUとの連携協定の活用 ・大分大学や学術機関との連携の推進 ・地域を学ぶ機会の創出・活用 	<p>① 社会性・協調性を育む取組の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会規範の遵守、社会状況に応じた判断ができる生徒を育成する指導の強化 ○いじめを許さない、他人を思いやる人権教育の推進 ○不登校の早期解消を目指す組織対応の強化 ・「7・5・3指導」の充実 <p>② 主体性を育む部活動・生徒会活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体性を育む部活動の推進 ・キャプテン集会での啓発 ○科学的トレーニングの導入等、短時間で効果の得られる指導の工夫 ○生徒会の主体性に基づく各種行事の発展 <p>③ 地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者・同窓会との連携強化 ○地域を考え、地域に貢献する活動の推進 ・総合的な探究の時間 ○積極的な情報発信 ・HPや学校広報誌の充実 	<p>① 深い学びに繋がる活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リーダー育成事業等への積極的参加 ・グローバル・ダ・育成塾等への参加喚起 ○深い学びに繋がる読書活動の推進 ・ビブリオバトルの活性化 ○土曜講座、鶴高タイムの活用 <p>② 進路希望実現に向けた取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学入試改革に対応した進路指導計画の策定 ・1年次からの計画の見直し ・面接、小論文指導等の充実 ○内発的動機付けを図るHRA等の充実 ・未来創生塾など各種講演会の充実 ○進路希望別セミナー、個別指導の強化

【指導改善の方向性】

主体性が育つ「鶴高の学び」の確立！

～「教え込む」から「学ばせる」、「手を尽くす」から「待つ」指導へ～